

総合的な学習の時間学習指導案（1年1組）

平成26年2月7日（水曜日）第5校時（13:55～14:45）富岡製糸場繭倉庫
指導者

1 単元名 世界遺産伝道師になろう

2 考察

(1) 教材観

①地域の特性

- ・校区内に世界遺産登録を目指している富岡製糸場があり、「大好きな町を世界に誇れるまちに」をスローガンに、親しみ易いキャラクターを作ったり施設を整備したりして、地域をあげて富岡製糸場への関心と地域に対する誇りを高めようとしている。また、製糸場内でボランティアガイドを行うなど主体的な活動に携わる住民も多い。その一方で、富岡製糸場の存在は知っているが、その価値を十分に理解しておらず、自分事として関わっていこうとする意識が低い住民も見られる。東中の生徒も全員が小学校の時に富岡製糸場を訪れて製糸場の話を解説員から聞いた経験があり、断片的な知識はもっている。しかし、富岡製糸場の歴史的・文化的価値を説明することができる生徒は限られている。

②伸ばしたいこと

- ・富岡製糸場についての関心や疑問から課題を設定する力
- ・他の人の考えや意見を受け入れて、協同で課題を解決していく態度
- ・課題解決に向け、計画的に行動する態度
- ・課題に対して追究した内容を整理・分析し、分かりやすくまとめる力
- ・富岡製糸場がもつ歴史的・文化的価値の理解
- ・相手や目的に応じて、論理的に表現する力
- ・富岡製糸場に対して思いや誇りをもち、地域に発信していこうとする態度

③そのために必要な指導・活動

- ・富岡製糸場で具体物を見ながら、世界に誇れることに特化した内容を解説員の方から話してもらうことで、富岡製糸場の背景にある歴史や人のつながりに対する関心と解説員に対する尊敬の念を高めていくようにする。
- ・少人数の班による話し合い活動で、各自の気付きや疑問を整理しながらランキングしていく。ランキングの理由を伝え合いながら課題を絞っていくことで、互いの考え方を認め合いながら課題を設定できるようにする。
- ・班ごとに課題設定の理由について話し合いながら追究の内容や方法を明らかにして、分担や計画をワークシートにまとめていくことで、見通しをもって追究活動に取り組めるようにする。
- ・追究活動には、人との関わりを大切にしていけることができるよう、富岡製糸場に再訪問して解説員の方と質疑応答を繰り返す活動、各自が追究した内容について班で共有し合う活動を取り入れていくようにする。
- ・集めた情報をもとに富岡製糸場の歴史的・文化的価値についてまとめていく際に、比較したり関連付けたりできるシンキングツールを活用させていくことで、互いの思考を可視化しながら、整理・分析できるようにしていくようにする。
- ・思考を可視化した過程をシンキングツールなどを使いながら、ホワイトボードで示していくことで、筋道を立てて分かりやすく伝えられるようにしていく。また、小学生を対象にパビリオン方式による発表を繰り返すことで、相手に伝わったという効力感がもてるようにする。
- ・学習の最後に、これまでの活動を振り返る際に画像やプリントの記入等を生かして、学習前後の

自分の変容を比較させながら自分たちができていることを考えさせていくことで、富岡製糸場に対する思いを深め、学んだことを多くの人に伝えていこうという姿勢をもたせていくようにする。

④今後の学習への活用

- ・中学校社会科における近代史の学習
- ・中学校2学年時の総合的な学習の時間における富岡製糸場を支える・担う人々との交流学习

(2) 本単元に関わる生徒の実態及び指導方針（男子14名、女子18名、計32名）

①既習の学習内容

- ・小学校5年生での総合的な学習の時間では、地域の方に協力していただきながら、実際に米を育てる活動を通して、地域の農業や自然、農作業についての見方や考え方を深めた。
- ・小学校6年生での総合的な学習の時間では、校外学習「再発見ツアー」と関連させ、富岡製糸場を含む富岡市内の文化財について調べ、地域のよさについての見方や考え方を深めた。

②実態及び指導方針

- ・生徒は、国語や数学、理科等で自分の考えを、図や写真を用いて相手に分かりやすく伝える経験を繰り返し行ってきており、同年代の相手に分かりやすく伝えることはできるようになってきている。しかし、自分たちよりも経験や知識の少ない相手に対して伝える経験はあまりなく、自分たちの考えを端的に順序立てて伝えていくには、思考の過程を分かりやすく示していく必要がある。そこで、収集した情報を整理・分析していく際に、思考の過程を可視化するシンキングツールを活用した話し合いを行い、比較したり分類させたりする活動を取り入れていく。この活動を基に相手の興味・関心を踏まえた比較対象を取り上げたり、カードを動かしながら一緒に考えたりする活動を取り入れて、相手の立場に立った分かりやすい伝え方ができるようにする。
- ・生徒は、これまでの発表では、自分たちが分かった内容を一方的に相手に伝えるという発表経験は豊富にあるが、相手と対話しながら発表する経験は乏しい。そこで、コミュニケーションを重視させながら、少数者を対象にしたパビリオン形式の発表を繰り返し行わせていく。相手の反応によっては臨機応変な対応も必要になるので、それに応じた準備を予測したり、クラス内で互いの発表を評価し合ったりする活動を取り入れていくことで、様々な相手の反応に対応できるようにしていく。これにより、自分たちの考えたことが伝わったという効力感を得られるようにする。

3 単元の目標

富岡製糸場で解説に携わる方々とのかかわりを通して、富岡製糸場及び絹産業遺産群に対する関心や疑問を探究することで、富岡製糸場がもつ歴史的・文化的価値の理解を深め、これらに対する思いと誇りを高め、他者に説明できる資質と能力を育て、進んで伝えられるようにする。

4 単元指導計画（全12時間予定）

評価規準	学習方法に関する こと	①富岡製糸場の解説に携わる方の話から、富岡製糸場に対する関心や疑問をもち、その中から課題を設定している。 ②課題に対して収集した情報を分析し、分かりやすくまとめ、相手や目的に応じて、論理的に表現している。
	自分自身に関する こと	①自分が追究していく課題を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動している。 ②自分たちがまとめたことや発表したことを通して、富岡製糸場に対する思いや誇りを高めている。
	他者や社会とのか かわりに関するす ること	①課題の解決に向けて追究していく際、他の人の考えや意見を受け入れ、互いに特徴を生かし協同で課題を解決している。 ②自分たちが見出した富岡製糸場のもつ価値を地域の人に進んで伝えようとしている。

時間 課程	伸ばしたいこと		主な学習活動
	能力・態度	知識・技能・考え方	
1時 ふ れ る	<ul style="list-style-type: none"> 富岡製糸場について関心をもち、意欲的に解説を聞こうとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて話を聞き、メモを取る技能【国語】 先人の働きや文化遺産のもつ価値に対する知識【社会】 地域の産業に対する知識【社会】 	<ul style="list-style-type: none"> 富岡製糸場を訪れて解説員の話を聞く。
2～ 3時 つ か む	<ul style="list-style-type: none"> 富岡製糸場での見学や解説員の話の中から課題を見出す力 課題を基に追究の内容・方法を考え、見通しをもって計画を立てる力 異なる意見や他者の考えを受け入れる態度 	<ul style="list-style-type: none"> 意図に応じて話し合う技能【国語】 先人の働きや文化遺産のもつ価値に対する知識【社会】 地域の産業に対する知識【社会】 	<ul style="list-style-type: none"> 体験を基に気付いたことや感じたことを出し合い、班別課題を設定する。 課題を追究していく見通しをもつ。
4～ 8時 追 究 す る	<ul style="list-style-type: none"> 目標を設定し、課題解決に向けて行動する態度 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する力 他者と協同して課題を解決する態度 情報を比較したり関連付けたりして分析する力 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から必要な内容を読み取って活用する技能【社会】 パソコンから必要な資料を見つけ出す技能【技術】 インタビューの技能【国語】 	<ul style="list-style-type: none"> 班ごとに追究に必要な場所や方法を選択して、人やものから課題解決に必要な情報を収集する。
9～ 12時 ま と め る (本時はその11時)	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を選択し、目的に応じて整理してまとめる力 異なる意見や他者の考えを受け入れる態度 相手や目的に応じて、論理的に表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から必要な内容を読み取って活用する技能【社会】 相手に分かりやすく話す技能【国語】 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を班ごとにシンキングツールを活用して整理・分析しながら、富岡製糸場の価値を考えてまとめる。
	<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じて、論理的に表現する力 互いの特徴を生かし、協同で課題を解決する態度 自らの生活の在り方を見直し、実践しようとする態度 自己の将来を考え、夢や希望をもとめようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 先人の働きや文化遺産のもつ価値に対する知識【社会】 地域の産業に対する知識【社会】 相手に分かりやすく話す技能【国語】 意図に応じて話し合う技能【国語】 主述を明確にして文章で書き表す技能【国語】 	<ul style="list-style-type: none"> 富岡製糸場の価値について、相手意識をもって伝える。 活動を振り返り、自分の生き方を見つめ直す。

5 本時の学習 (11/12)

(1) ねらい

課題を追究する過程で見出した富岡製糸場がもつ歴史的・文化的価値を小学生に説明することを通して、相手の立場に応じて、筋道立てて分かりやすく表現する力を高める。

(2) 準備 生徒：ホワイトボード、マグネットシート、マーカー

教師：学習カード

(3) 展 開

学 習 活 動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎補充的な支援、◇評価、T1 は森田、T2 は富岡小学校教諭)
<p>1 本時の活動の課題をつかむ。</p> <p>【場所：東薊倉庫 各班の発表場所とコース図の集合場所】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><今日の課題> 自分たちが見出した富岡製糸場の歴史的・文化的な価値を小学生に分かりやすく解説しよう。</p> </div> <p>○「自分のめあて」を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい発表になるよう、声の大きさや表情に気を付けよう。 ・富岡製糸場への理解が深まるように、積極的にコミュニケーションをとっていこう。 ・自分たちの考えを伝えることで、小学生が富岡製糸場の価値を知り、大切にしたいという思いをもってほしい。 	5分	<p>○全員が短時間で確認できるよう、生徒には以下の内容をまとめた学習カードを配布する。</p> <p><生徒に配布する学習カードの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の課題 ・発表場所 ・発表をする上での注意点 ・自分のめあて ・めあてに対する振り返り <p><小学生に配布するプリントの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動上の注意点 ・移動するルート図 ・めあて ・振り返り <p>○小学生を8つの班、4班ずつの2つのグループに分ける。各グループごとに発表を聞くルートを設定し、小学生の班を一定の時間ごとに移動させる。時間内に4つの班を廻り、発表が聞けるようにする。</p> <p>T1：全体に向けて、活動の趣旨とそれぞれの動き、留意点を伝える。それぞれが事前に学習カードに記入した「自分のめあて」を読ませ、目的意識をしっかりとめさせていく。</p> <p>T2：プリントを基に、小学生に発表を聞く順序や注意点について補足説明をする。</p>
<p>2 自分たちが、情報を整理・分析しながら見出した富岡製糸場の歴史的・文化的価値を小学生に向けて解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が聞いてくれるように、自分たちから話しかけて雰囲気をつくっていこう。 ・実際に製糸場にあるものを利用して、小学生たちの興味を高めていこう。 ・前回に○○というアドバイスをもらったから、そこを気をつけよう。 ・ホワイトボードのよさを生かして、小学生に参加してもらおう。 ・自分たちが考えた富岡製糸場の歴史的・文化的価値が分かるよう伝えたい大切なことを強調しよう。 ・班員が協力できるよう、互いの発表で上手くいかなかった部分を補っていこう。 ・先生から聞いたアドバイスを参考に、よりよい発表にしていこう。 	35分	<p>○発表内容を効果的に解説できる場所で、小学生にコミュニケーションを重視した、パピリオン方式による発表を繰り返す。これにより、相手の反応を実感しながら、自分たちが考えたことが伝わったという効力感がもてるようにする。</p> <p>○思考を可視化した過程をシンキングツールなどを使いながら、ホワイトボードの特徴を生かして表していくことで、筋道を立てて分かりやすく伝えられるようにさせる。</p> <p>T1：発表の様子を巡回しながら以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎聞き手の立場に立った言動による雰囲気づくりができるように声掛けを行う。 ◎自分たちが最も伝えたい価値は何か意識させ、一方通行にならないよう、問いかけて一緒に考えさせたり、マグネットを操作させたりする場面を重視するよう声掛けを行う。 ◎発表終了後は、小学生に対し「分かったこと」「考えたこと」を尋ねさせたり、教師の評価を伝えたりして、よりよい解説になるよう互いの意見を交換させていく。 <p>T2：巡回しながら小学生の移動の様子や、発表への参加状況を見て指示を出したり、発表内容への理解を深める支援を行ったりする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>◇相手とコミュニケーションを図りながら、協力して、自分たちが見出した富岡製糸場の歴史的・文化的価値について解説している。(発表の様子)【学習方法に関すること②】</p> </div>		
<p>3 本時の活動を振り返る。</p> <p>【場所：東薊倉庫 各班の発表場所とコース図の集合場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班のみんなでお互いに助け合って解説することができた。 ・これまでと違う発表の方法を取り入れることで、自分たちの考えを整理して伝えることができた。 	10分	<p>○小学生には「発表の分かりやすさ」「分かったこと」「考えたこと」などを学習カードにまとめてもらい、その内容については後日発表者に伝えるようにする。一部をその場で発表してもらい、相手の立場からの評価として自己の振り返りに生かせるようにする。</p> <p>○学習カードに、各自のめあてについての自己評価を記述させることで、自分たちの活動を振り返り、新たな気付きや課題をもてるようにしていく。</p>

・相手の反応を見ながら、意欲的に聞いてもらえるように解説するのは難しかったが、相手が反応してくれたり、分かってくれたりすると嬉しかった。

<表れてほしい生徒の意識>

解説員の方のように分かりやすく伝えるためには、富岡製糸場の価値について、もっと学んでいこう。

◇自分のめあてに対して、実際に行った解説の様子を省みながら、よかったこと、改善していくこと、今後の活動で生かしたいことを文章でまとめている。
(学習カード)【学習方法に関すること②】

◎以前に総合的な時間の学習で行った発表や自分たちが学習の初めに聞いた解説員の方の説明と比較させていくことで、自分たちの変容を意識できるようにする。

<各班の解説内容・場所>

- 1班「製糸場の建て方について」 【場所：東繭倉庫外側 各班の発表場所とコース図の①】
・なぜ142年も建っているのか、使われている材料の種類や組み合わせ方、強度を比較しながら解説する。
- 2班「富岡製糸場に関わってきた人々」 【場所：ブリュナ館付近 各班の発表場所とコース図の②】
・製糸場にはどのような人々に関わってきたのか、作った人・働いていた人・保存した人など、関わり方の違いを基に人物を分けながら示し、影響力が強かった人物について詳しく解説する。
- 3班「142年間こわれずに残っていたのはなぜ」 【場所：乾燥場付近 各班の発表場所とコース図の③】
・なぜ142年間残っているのか、参加者の意見を聞きながら、要因をグループ分けしながら解説する。
- 4班「赤ワイン事件について」 【場所：女工館前 各班の発表場所とコース図の④】
・なぜ赤ワイン事件が起きたのか、関係する人々の考え方やその後の苦労にふれながら、事件の内容、互いに理解をしながら解決していく過程を、ドラマ風に解説する。
- 5班「繰糸場のすごさについて」 【場所：繰糸場内 各班の発表場所とコース図の⑤】
・繰糸場の優れている点はどのようなところにあるのか、工法や構造上の優れている部分を、他の建築物と比較しながら解説する。
- 6班「なぜレンガを使ったのか」 【場所：東繭倉庫外側 各班の発表場所とコース図の⑥】
・製糸場を造った当時、なぜ木とレンガを組み合わせを使ったのか、その理由について「木のみ」「レンガのみ」「木とレンガの組み合わせ」の視点で長所と短所を比較しながら解説する。
- 7班「レンガの積み方について」 【場所：東繭倉庫外側 各班の発表場所とコース図の⑦】
・製糸場建設において、レンガの積み方になぜフランス積みを採用したのか、「イギリス積み」「フランス積み」「長手積み」「ドイツ積み」の強度やレンガの使用数を比較しながら解説する。
- 8班「繭のすごさについて」 【場所：ガイダンス展示室 各班の発表場所とコース図の⑧】
・日本はなぜ生糸生産を産業の中心にしようとしたのか、「繭」から連想される言葉を出してもらい、その関わりを図に示しながらの繭のよさと当時の時代背景を解説する。

<パビリオン方式> ※各班の発表時間 (6分間)、小学生の移動時間 (2分間)

- ・小学生は、AとBの2つのグループ(各4班)に分かれる。
- ・小学生は、中学生の班が待っている場所を巡って、時間内に4つの中学生の班から解説を聞く。
- ・解説を聞く際は、複数班ではなく、必ず1つの班で聞く。
- ・解説を聞いた小学生の班は、以下の順にしたがって、次の中学生の班の所に移動して解説を聞く。
- ・例えば、Aコースで東中2班の解説を聞いた小学生の班は次は1班、次は6班と聞いていく。

[小学生の班が巡るコース]

◎Aコース:(東中1班・・・)→東中6班 → 東中5班 → 東中4班 → 東中1班 → (東中6班・・・)

◎Bコース:(東中3班・・・)→東中8班 → 東中2班 → 東中7班 → 東中3班 → (東中8班・・・)

ふるさと学習指導要領

第1 目 標

市民生活についての理解を図り、我が富岡市の文化・歴史・経済・産業・自然・観光に対する理解と誇りを育て、これからの富岡市を展望できる市民として必要な資質と能力を持った生徒を育てる。

第2 各学年の目標及び内容

1 目 標

- (1) 富岡製糸場及び絹産業遺産群のもつ歴史的、産業的、経済的、文化的価値の理解を深め、これらの対する思いを強め誇りを持ち、他者に説明できる資質と能力を育て、進んで伝えられるようにする。
- (2) 富岡製糸場及び絹産業遺産群の世界遺産登録を応援する市民や企業等の活動にふれ、他の地域での支援活動にも学び、中学生として世界遺産を支える活動を追求し市民として応援する資質と能力を養い、進んで活動するようにする。
- (3) 富岡製糸場及び絹産業遺産群を中核に、こらからの街づくりを考えたり推進したりする活動をしている方々に学び、これらの方々の思いや考えを学び、将来の街づくりを自分たちの問題として理解し追求する中で、よりよい郷土の創造を目指して情報発信し、思い描くことができるようにする。

2 内 容

- (1) 富岡製糸場及び絹産業遺産群の価値について調べ、世界遺産として登録を目指す理由について理解する。
 - ア、富岡製糸場の歴史的、産業的、経済的、文化的価値について理解する。
 - イ、絹産業遺産群について調べ、富岡製糸場との関係を理解する。
- (2) 富岡製糸場を郷土の宝として抱えるふるさと富岡に誇りを持ち、富岡製糸場について進んで説明できる。
 - ア、本市を訪れた人に富岡製糸場が世界遺産候補とされている状況を説明できる。
 - イ、富小児童に富岡製糸場の案内及び説明ができる。
- (3) 富岡製糸場の世界遺産登録を応援する市民や商店、企業の活動に学ぶとともに他市町村の活動も調べる。また、日本や外国の世界遺産が、その地域の社会生活に影響を与えているか調べる。
 - ア、職場体験学習の経験を生かし、商店や企業から直接聞きまとめる。

- イ、行政機関や市民の応援活動について調べインタビューしまとめる。
- ウ、他市町村への取材や国や外国の情報はインターネットなどを利用してまとめる
- (4) 中学生として富岡製糸場を支える方法について考え、活動を通して、市民の理解が得られる支援活動をすることができる。
 - ア、世界遺産や国立公園などを支える他市町村の活動を調べ、本市の大人の活動に学びながら東中として支える活動を実践する。
 - イ、活動の様子について市民に知らせ理解を得る中で、富岡市民としての自覚を持つようにする。
- (5) 富岡製糸場及び絹産業遺産群を中核に街づくりを進める市民グループや行政担当課などから直接学び、富岡市が将来に向けて抱える課題について理解を深める。
 - ア、富岡製糸場及び絹産業遺産群をコンセプトの中核に据える街づくりを理解する
 - イ、富岡市が将来に向けて抱える課題について理解を深める。
- (6) 富岡市の将来を自分たちの問題としてとらえ、課題を明らかにし、よりよい郷土の創造を目指して考えを発信できるようにする。
 - ア、情報を元に、将来の街づくりを仲間と共同して追求することができる。
 - イ、中学生の考える街づくりを、市民に情報発信し意見交換をすることができる。

3 内容の取扱い

- (1) について
 - ア、製糸場解説ボランティア、市担当課、学識経験者、市美術博物館など
 - イ、下仁田町、藤岡市、伊勢崎市、深谷市など
- (2) について
 - ア、富岡製糸場、お富ちゃん家、駐車場付近、英語での説明も おもてなし
 - イ、富岡小学校との小中連携
- (3) について
 - ア、職場体験学習との関連、商店や企業、「〇〇は富岡製糸場を応援します」
 - イ、市担当課、一般市民の意識、応援者の意識
 - ウ、下仁田町、藤岡市、伊勢崎市、深谷市、岡谷市、インターネット
- (4) について
 - ア、静岡県、山梨県、産業遺産を支える都市
 - イ、広報紙、web
- (5) について
 - ア、街づくり提案G、ワークショップ
 - イ、市担当課、学識経験者、区長
- (6) について
 - ア、様々な提案書、市民の思いリサーチ
 - イ、パネル展示（市生涯セ、製糸場、お富ちゃん家）、フォーラム開催、市議会

第3 単元配列

「よりよき郷土の創造」を目指し、過去→現在→未来で単元配列をする。

< 過 去 > < 現 在 > < 未 来 >

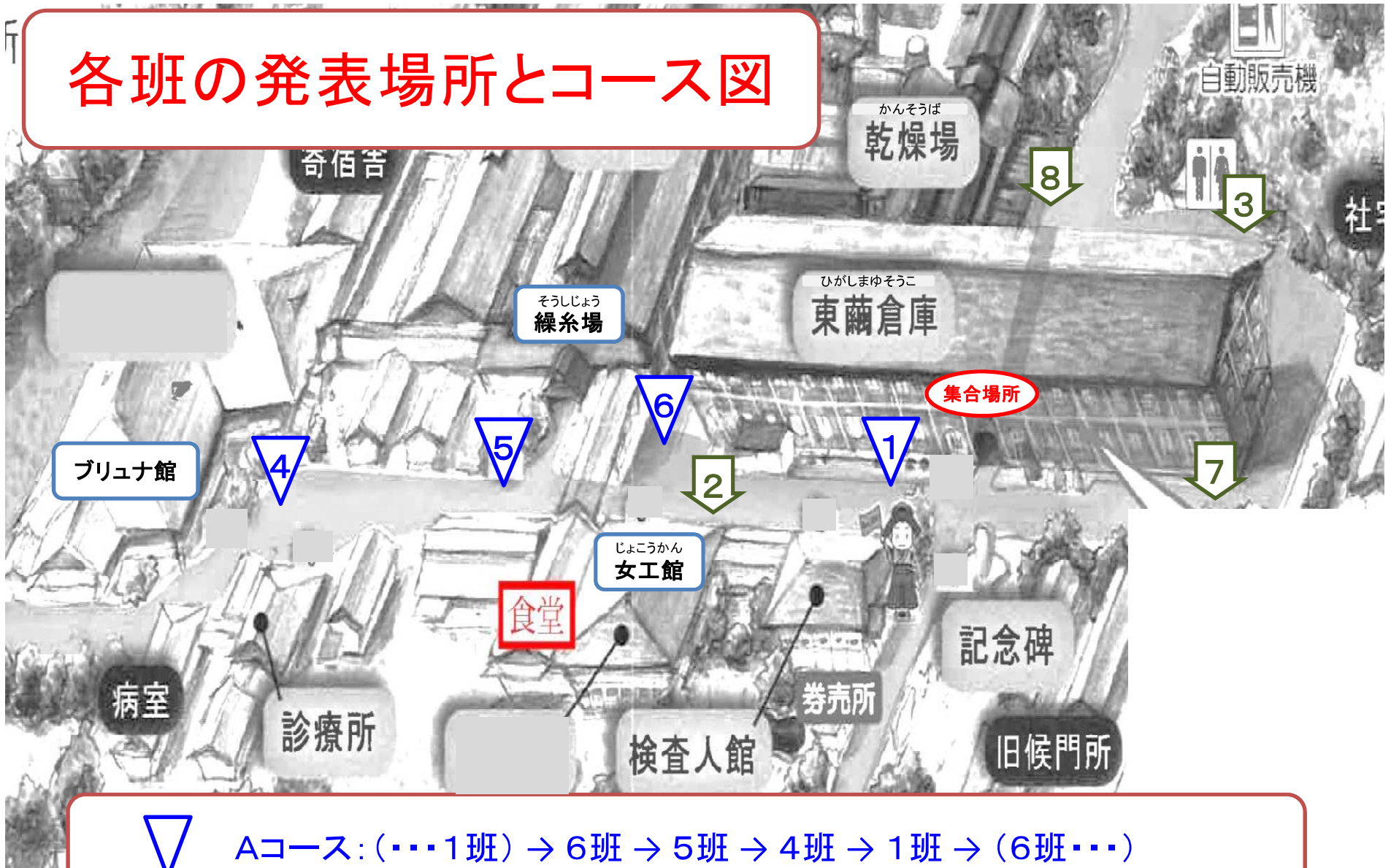
学 年	第1学年	第2学年	第3学年	
単 元 名	世界遺産伝道師になろう	世界遺産応援隊になろう	世界遺産を核にした街づくりをしよう	
コンセプト	知る・伝える	支える・担う	未来につなげる	
目 標	富岡製糸場及び絹産業遺産群のもつ歴史的、産業的、経済的、文化的価値の理解を深め、これらの対する思いを強め誇りを持ち、他者に説明できる資質と能力を育て、進んで伝えられるようにする。	富岡製糸場及び絹産業遺産群の世界遺産登録を応援する市民や企業等の活動にふれ、他の地域での支援活動にも学び、中学生として世界遺産を支える活動を追求し、市民として応援する資質と能力を養い、進んで活動するようにする。	富岡製糸場及び絹産業遺産群を中核に、こらからの街づくりを考えたり推進したりする活動をしている方々に学び、これらの方々の思いや考えを学び、将来の街づくりを自分たちの問題として理解し追求する中で、よりよい郷土の創造を目指して情報発信し、思い描くことができるようにする。	
学 習 過 程	ふれる	製糸場解説員の活動	商店や企業の応援活動	大人たちの将来の郷土像
	つかむ	後継者の育成	市民全体での応援態勢	将来の街づくり
	追求する	富岡製糸場及び絹産業遺産群の価値	中学生として応援すること	中学生が考える未来の富岡の街づくり
	生かす 広げる	世界遺産伝道師	世界遺産応援隊	将来の街づくり提案
備 考	製糸場解説員、学識経験者、市担当課、市美術館、関係市町村、お富ちゃん家	商店、企業、商工会、商工会青年部、げんき塾、市担当課、関係市町村、該当中学校、一般市民、該当都道府県	街づくり提案グループ、ワークショップ、市担当課、商工会、商工会青年部、学識経験者、市議会、区長	

単元指導計画

単元名	「世界遺産伝道師になろう」 (12時間予定)					
目標	○富岡製糸場で解説に携わる方々とのかかわりを通して、富岡製糸場及び絹産業遺産群に対する関心や疑問を探究することで、富岡製糸場がもつ歴史的・文化的価値の理解を深め、これらに対する思いと誇りを高め、他者に説明できる資質と能力を育て、進んで伝えられるようにする。					
評価規準						
学習方法に関すること		自分自身に関すること		他者や社会とのかかわりに関すること		
①富岡製糸場の解説に携わる方の話から、富岡製糸場に対する関心や疑問をもち、その中から課題を設定している。 ②課題に対して収集した情報を分析し、分かりやすくまとめ、相手や目的に応じて、論理的に表現している。		①自分が追究していく課題を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動している。 ②自分たちがまとめたことや発表したことを通して、富岡製糸場に対する思いや誇りを高めている。		①課題の解決に向けて追究していく際、他の人の考えや意見を受け入れ、互いに特徴を生かし協同で課題を解決している。 ②自分たちが見出した富岡製糸場のもつ価値を地域の人に進んで伝えようとしている。		
過程	時間	主な学習活動	生徒の意識の流れ	主な支援・留意点	評価観点	評価項目(評価方法)
つかむ(課題の設定)	1	1 学習対象と出会う。 ○製糸場解説員の話聞く。	・解説員さんは、富岡製糸場のことをとてもよく知っている。 ・解説員さんの話を聞いて、富岡製糸場が世界に誇れるところがたくさんあることがわかった。	○予め、解説員の方に詳しい解説をする部分としない部分を設定してもらい、生徒が気付きや疑問をもてるようにする。 ○詳しい資料は与えずに、施設図のみが書かれている学習カードを準備し、気付きや疑問を自由に書きとめさせる。	学①	○解説員の話聞き、富岡製糸場の歴史的・文化的価値について関心を高めている。 (観察、学習カード)
	1	2 課題を設定する。 ○解説員の話から、気付きや疑問などを交流する。 ○気付きや疑問を整理し、追究したい課題を設定する。	・解説員の方の話の中に出てきた○○について関心をもった。 ・何度か来ているけど、新たに知ったことがあった。 ・○○について、もっと詳しく知りたい。 ・人によって様々な視点がある。 ・「もの」だけでなく「人」についても調べていきたい。	○書き留めたメモをもとに体験をまとめ、気付きを交流していくことで、富岡製糸場の素晴らしいところを多面的・多角的にとらえられるようにする。 ○各自が考えたランキングを基に、富岡製糸場がもつ歴史的・文化的な価値ベスト5について班で話し合いをしていくことで、互いの考え方を認め合いながら、課題設定できるようにする。	学①	○気付きや疑問をもとに話し合いながら、追究したい課題を設定している。 (発言、学習カード)
	共通課題：富岡製糸場がもつ歴史的・文化的な価値を伝えられるようになろう		班別課題①：○○のすごいところは、どのようなところにあるのか調べよう			
追究する	1	3 追究の見通しをもつ。 ○追究の方向性を確認し、方法や分担を決める。	・○○のすごいところはどこだろうか。 ・図書館やインターネットで情報を収集しよう。 ・解説をしているボランティアの方にも話を聞いてみよう。	○追究していくために、班で絞った内容について要因を予想できるように、班ごとに互いの考えを出し合いながら、要因を分析し、追究の方向性や方法について、見通しをもつことができるようにする。	学① 自①	○話し合いながら、追究活動の見通しをもち、計画を立てている。 (発言、学習カード)
	3	4 課題解決に必要な情報を収集する。 ○班ごとの課題について調べる。	・解説員さんの話をもう一度聞きに行き、こちらから質問してみよう。 ・富岡製糸場に行って現物をもう一度見てみよう。 ・詳しく調べていくといろいろなことが分かり、新たに調べたいことが出てくる。 ・調べた内容についてどのようにまとめていけばいいかな。	○追究活動において、対象が重複する場合は協同で進められるよう支援する。 ○追究活動には、人との関わりを大切にしていけるよう、富岡製糸場に再訪問して解説員の方と質疑応答を繰り返す活動、各自が追究した内容について班で共有し合う活動を取り入れていく。 ○製糸場に行ったり、解説員さんの話を聞いたりする際には、事前に質問内容を伝えておくことで、課題解決に向けた情報が効率よく得られるようにする。	学② 自①	○富岡製糸場の歴史的・文化的価値について、様々な視点から見方や考え方を深めている。 (活動、学習カード)

（情報 の 収 集 ） 整 理 ・ 分 析	2	<p>5 収集した情報や資料を整理・分析し、まとめる。</p> <p>○追究で得た情報を互いに伝え合い、価値をまとめていく。</p> <p>○富岡製糸場の価値が伝わるような内容になっているか、よく検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図や表を使って情報を整理してみよう。 ・何かと比較するとすごい部分が強調されて分かりやすいかも。 ・ランキングをしながらその理由について話し合ってみよう。 ・一番伝えたい価値をはっきりさせよう。 	<p>○課題に対して各自が追究した内容をまとめる際には、それぞれの内容をよく聞き合うことで、互いの意見を尊重し合えるようにする。</p> <p>○共有した情報を分析する際には、比較したり分類したり、関連付けたりできるように、シンキングツールを活用させ、思考を可視化していく。</p>	学② 他①	○図や表を用いて、互いの情報等を整理・分析し、富岡製糸場の歴史的・文化的価値を見出している。 (発言、まとめの用紙)
	<p>班別課題②：富岡製糸場がもつ〇〇という歴史的・文化的価値を地域の人に広げよう</p>					
ま と め る （ ま と め ・ 表 現 ）	2	<p>6 まとめた内容を互いに伝え合う。</p> <p>○まとめた内容を互いに聞き合い、意見を交換して見直しをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが考えた過程を分かりやすくしてみよう。 ・伝えたい価値を分かりやすくするためには難しい言葉を使ったり情報が多かっただけならよくない、キーワードを使おう。 ・図や絵などを入れて、見やすくしていこう。 ・小学生の身近なものと比較したり、ランキングを体験させたりして一緒に考えてみよう。 	<p>○思考を可視化した過程をシンキングツールなどを使いながら、ホワイトボードで示していくことで、筋道を立てて分かりやすく伝えられるようにしていく。</p> <p>○身近な地域の人として、小学生を対象していくことで、収集した情報をそのまま伝えるのではなく、相手に合わせて情報を分かりやすくまとめていく必要性をもたせていく。</p>	学② 他①	○発表を互いに聞き合っ て、よりよい発表になるよう見直すことができる。 (発言、学習カード)
	1	<p>7 自分たちの思いや価値を伝え、広げていく。</p> <p>○富岡製糸場のもつ歴史的・文化的価値を小学生に解説する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に話しかけて、一緒に楽しめるようにしてみよう。 ・富岡製糸場の価値には〇〇という視点もあったのか、こちらもすごいな。 ・よりよい発表となるようお互いのよいところを見つけよう。 ・よい発表となるよう思ったことは、はっきりと言おう。 ・言われた内容を基に、発表を見直しをしていこう。 	<p>○ホワイトボードを用いて、コミュニケーションを重視したパビリオン方式による発表を行わせることで、相手に伝わったという効力感がもてるようにする。</p> <p>○互いの発表を聞き合うことで、自分では気付かなかった富岡製糸場の価値について、複数の視点から見方や考え方を深めることができるようにする。</p> <p>○互いの発表に対して助言を交わし、ワークシートにまとめていくことで、互いの意見を認め合う姿勢をもたせていく。</p>	学②	○相手とコミュニケーションを図りながら、協力して、自分たちが見出した富岡製糸場の歴史的・文化的価値について解説している。 (発表の様子)
	1	<p>8 活動を振り返り、自分の生き方を見つめ直す。</p> <p>○活動を振り返り、見方や考え方の変化を見つめる。</p> <p>○今後の生活について考えていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のアドバイスを生かしていこう。 ・自分たちが考えた富岡製糸場の価値が分かるよう、伝えたい大切なことを強調しよう。 ・相手が反応してくれたり、分かってくれたりすると嬉しい。 ・製糸場の解説員さんのすごさを改めて実感できた。 	<p>○聞き手の立場に立った言動による雰囲気づくりができるように声掛けを行う。</p> <p>○自分たちが最も伝えたい価値は何か意識させ、一方通行にならないよう、一緒に考えさせたり、操作させたりする場面を重視するよう声掛けを行う。</p> <p>○発表終了後は、「分かったこと」「考えたこと」などを尋ねさせたり、教師の評価を伝えたりして、よりよい解説になるよう意見交換させていく。</p>	自② 他②	○今回の活動を振り返ることから、自分を見つめ直し、今後の活動に生かそうとしている。 (発言、振り返りカード)

各班の発表場所とコース図



Aコース: (・・・1班) → 6班 → 5班 → 4班 → 1班 → (6班・・・)



Bコース: (・・・3班) → 8班 → 2班 → 7班 → 3班 → (8班・・・)